



熊野古道・風伝峠の雲海「風伝おろし」(御浜町)

平成26年三重県議会定例会 9月定例会会議 再生可能エネルギー等の導入支援などについて議論

国庫補助金を活用して災害応急対策の拠点として機能する施設等における再生可能エネルギー等の導入支援等に伴う平成26年度一般会計補正予算のほか、平成25年度企業会計決算認定議案などを審議しました。

代表質問の主な内容(2ページ)

- ・中国ビジネスサポートデスクのあり方の抜本的見直しを
- ・持続可能な財政運営を

一般質問の主な内容(2~5ページ)

- ・みえフードイノベーションの充実強化を
- ・新規投資を行いやすい土壌汚染対策に関する条例の運用を
- ・みえの育児男子プロジェクトの促進を
- ・神湯館の存続と榊原温泉の振興
- ・アルコール健康障害対策基本法の制定を受けて
- ・「三重県子ども・少子化対策計画(仮称)」の数値目標について
- ・若年無業者への就労支援を
- ・「第27回全国菓子大博覧会・三重」の開催に向けて
- ・子どもの貧困対策の推進を
- ・河川増水対策として水位計の設置を
- ・戦後70年の節目にあたって
- ・全国学力・学習状況調査の結果について
- ・男性看護師の育成・確保を

本会議審議の結果(6ページ)

主な活動内容(7ページ)

- ・台風11号被害に関する環境生活農林水産常任委員会の活動状況
- ・インターンシップ実習生の受け入れ
- ・第1回三重県議会議員勉強会

台風11号被害に関する環境生活農林水産常任委員会の活動状況(平成26年9月18日・津市美里町桂畑の被災現場)
※詳細は7ページに掲載しています。第1回三重県議会議員勉強会(平成26年10月17日)
講師の石原俊彦さん
(関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授)
※詳細は7ページに掲載しています。

代表質問

中国ビジネスサポートデスクのあり方の抜本的見直しを

三谷 哲央 議員
(新政みえ/桑名市・桑名郡選出)



問

上海の三重県中国ビジネスサポートデスクの役割は、商品の売り込み等より、企業進出のための登記や、既に進出している企業の労務管理や会計処理の支援等が主になっているのではないかと思われま。しかし、中国は購買意欲が旺盛な13億人を擁する巨大マーケットであり、商品の輸出促進や販路開拓、観光客の誘致などへ、その役割の軸足を移すべきと思えます。上海のサポートデスクのあり方の抜本的見直しを行う必要があると考えますが、いかがですか。

答

サポートデスクでは、昨年、販路開拓イベントを実施するなど、巨大マーケットとしての中国を意識した取り組みに力を入れ始めたところ。製造業の新規進出相談が少なくなっている。反面、県産品の中国での販売や、中国人観光客の誘致を希望する



上海での日中ものづくり商談会の様子

声が高まっているなど、経済情勢は変化しており、今後のサポートデスクのあり方については、「みえ国際展開に関する基本方針評価検討部会」での議論も踏まえ、検討していきます。

その他の質問事項

○平成27年度三重県経営方針(案)について ほか

持続可能な財政運営を

貝増 吉郎 議員
(自民みらい/桑名市・桑名郡選出)



問

厳しい財政状況の下、国民体育大会を始めとする大規模事業に要する財源を確保しつつ、子や孫の世代にツケを回さない、持続可能な財政運営をどのように確立していくのか、知事の考えをお伺いします。また、目標として掲げている県債残高の減少については、その達成が持続可能な財政運営の確立に向けた第一歩となり、県民から大いに注目されています。そこで、「三重県行財政改革取組」に掲げた県債残高目標は達成できるのかどうかについてもお伺いします。

答

持続可能な財政運営の確立は将来の県民に明るい未来を届けるための県政を支



える最も重要な基盤です。今後、事業の一層の選択と集中を図る一方、真に必要な支出は優先度を決めてしっかりと行い、将来の三重県を活力あるものにする

ことにより、安定した税収の確保につなげ、次世代に続く持続可能な財政運営の確立を目指します。また、県債残高の目標は達成可能と考えています。国の動向も注視し必要な調整を行っていきます。

○知事の自己評価について ほか

一般質問

みえフードイノベーションの充実強化を

藤田 宜三 議員
(新政みえ/鈴鹿市選出)



問

「もうかる農業」のリーディングプロジェクトといえる、①みえフードイノベーションの取り組みを進める中で、新しい商品開発の方向性も提案しながら具体化に向けて参画していける立場にある、県の研究所が果たす役割は非常に重要だと考えます。そこで、県の研究所がもっと幅広く参画して、三重県農業の可能性を広げていく取り組みについてお聞かせください。

答

新たな商品・サービスを創出する上で、県研究所の果たす役割も大きくなっており、県では、県研究所を中心に、②ICTなどを活用した新技術の開発や医療・健康分野の研究が必要になるプロジェクトにも力を入れていきます。今後さらに研究所の機能を最大限に発揮し、付加価値の高い農業に取り組みしていきます。



県の研究成果を生かした低リン米

○医療・健康・福祉産業の活性化について ほか

文中の傍線部分については、5~6ページに用語解説を掲載しています。

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

新規投資を行いやすい
土壌汚染対策に関する条例の運用を

石田 成生 議員
(自民みらい/四日市市選出)



問

事業者には、**③有害物質**使用特定施設の廃止時等の土壌汚染調査実施義務や土壌汚染発見時の県への届出義務があります。届出があると県は内容を公表し、事業者は土壌汚染対策を行います。この対策費用は多くの場合、膨大となります。そこで、法や条例の趣旨を緩めることなく、事業者が新規投資を行いやすく条例を運用すべきと考えますが、いかがですか。

答

条例に基づく土壌汚染調査は、一定の場合を除き簡易な調査となっており、土壌汚染対策も合理的で適切な対策が選択されるよう指導しています。届出内容の公表は、地下水汚染を伴わない土壌汚染だけの場合等には慎重な対応が求められるとの県環境審議会答申の考え方も踏まえ、適切に対応していきます。



その他の質問事項
○「死因究明等推進計画」について
ほか

④みえの育児男子
プロジェクトの促進を

下野 幸助 議員
(新政みえ/鈴鹿市選出)



問

県内企業の99・8%を占める中小企業・小規模企業では、雇用者の86・3%（約42万人）が働いており、そこで働く男性に育児の重要性を理解していただくための普及活動を行っていると思いますが、いかがですか。また、広報啓発活動を今年度から積極的に行っていますが、このような取り組みを中小企業・小規模企業を中心に行うべきと考えますが、いかがですか。



答

県内の中小企業を対象に、企業の合計特殊出生率調査である「三重県企業子宝率調査」を実施し、子育てに優しい取り組みの優良事例を表彰、広く公表・発信するなど、県内企業の大部分を占める中小企業に対して、しっかりと応援ができるように取り組んでいきます。

その他の質問事項
○非正規雇用対策について
ほか

神湯館の存続と
神原温泉の振興

前野 和美 議員
(自民みらい/津市選出)



問

神原温泉はこれまで神湯館を中心に温泉観光地として発展してきましたが、この不況により大変厳しい状況にあります。このような中、現在、経済組合の保養所として運営されている神湯館について、採算が取れないことを理由に売却の話が出ています。苦境に立たされている神原温泉の復興のためにも神湯館についてはぜひ存続すべきと考えますが、いかがですか。

答

神湯館の運営については、これまで相当努力してきましたが、今後多額の改修費が必要となることもあり、先般、議会に説明した方針から、基本的には変わりませんが、今後も共済組合として何ができて何ができないのかなど慎重に検討します。なお、神原温泉全体のPRをしっかりと行うことには変更ありません。



その他の質問事項
○台風11号に関連した地域の課題
ほか

アルコール健康障害対策
基本法の制定を受けて

田中 智也 議員
(新政みえ/四日市市選出)



問

アルコール健康障害対策基本法が昨年12月に成立しました。アルコール依存症患者は、本人もその家族も大変苦しんでいます。国では、専門医や患者本人とその家族等を構成員とする関係者会議を作り、アルコール健康障害対策推進基本計画を策定中ですが、県としては、法の制定を受けて、その周知も含め、今後どのように取り組んでいくのか、お伺いします。



答

県では、法の主旨やアルコール関連問題について関心を高め、理解を深めてもらうために、11月に県民や関係者を対象とした講演会の開催を予定しています。また、国の計画策定を受け、医療計画等との整合に留意し、関係機関や事業者等の意見も聴きながら、県計画を策定していきたいと考えています。

その他の質問事項
○こども心身発達医療センター(仮称)による地域支援について
ほか

「三重県子ども少子化対策計画(仮称)」の数値目標について

山本 勝 議員
(自民みらい/桑名市桑名郡選出)



問

日本創成会議の「スト
ップ少子化・地方元氣戦
略」では、国民の希望が叶った
場合の合計特殊出生率として
2025年に1・8を実現する
ことを基本目標としており、20
歳代の結婚割合が増えれば実現
可能と推定されています。個人の
価値観が尊重されることが大前
提ですが、現在策定中の計画に、
合計特殊出生率や出生数などの
数値目標を入れる考えはありま
すか。

答

計画に基づく対策は長
期にわたり計画的に進め
る必要があるため、進捗状況等
を「見える化」し、PDCAサイク
ルを回すために、10年先のめざ
すべき社会像を踏
まえた総合目標を
数値目標として設
定することとし、
少子化対策に関す
る目標は、合計特殊出生率や出
生数をもとに設定する方向で議
論しています。



三重県の少子化対策のキャッチフレーズ

○県北部海抜ゼロメートル地帯
の諸課題について ほか

若年無業者への
就労支援を

北川 裕之 議員
(新政みえ/名張市選出)



問

「⑤地域若者サポートス
テーション」(サポステ)
が県内に4か所ありますが、高
校在校生への支援の仕組みを県
で作ってほしいとの意見をお聞
きします。サポステが進路決定
されにくい生徒を支援する体制
づくりを学校と連
携して準備してい
けば、未就職や離
職のまま無業者に
なる若者を救える
のではないかと考
えますが、県としての支援策に
ついてお聞かせください。

答

在学学生はサポステの対
象外ではありますが、県
では在学生を対象にサポステの
支援内容等の紹介をしていま
す。また、サポステと学校の連
携を促進する会議を開催すると
ともに、未就職の卒業生を支援
するため県教育委員会と情報共
有を行う体制を整備するなど、
切れ目のない支援に取り組んで
います。



いが若者サポートステーション

○救急医療情報システム「MIE
NET構築事業」について ほか

「第27回全国菓子大博覧会・
三重」の開催に向けて

中川 正美 議員
(自民みらい/伊勢市選出)

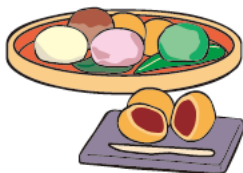


問

2017年に伊勢市で
「第27回全国菓子大博覧
会・三重」が開催されますが、
御遷宮後のイベントとして、ゼ
ヒオール三重で盛り上げてい
ただきたいと思います。また、
2013年に「和食」がユネス
コ無形文化遺産登録され、世界
から日本の食文化に高い関心が
寄せられています。国内向けだ
った日本の菓子を海外に発信す
る良い機会であると考えます
が、いかがですか。

答

本県での菓子博の開催
は、伊勢志摩地域をはじ
め、県内への大きな経済波及効
果が期待されると
ともに、三重の食
を発信する絶好の
機会であると考え
ます。このため、関
係者として、関
論させていただきながら、菓子
博を世界に向けた情報発信の場
として、より効果的なものにし
ていくよう取り組んでいきます。



○難病対策について ほか

子どもの貧困対策の
推進を

杉本 熊野 議員
(新政みえ/津市選出)



問

平成26年1月に「子ど
もの貧困対策の推進に関
する法律」が施行されました。
支援の緊急度の高い子どもへの
施策や「学力保障」のための総
合的な貧困対策が必要です。ま
た、「検討の場」の設置と三重
県の計画の策定も
必要だと考えま
す。そこで、法を
受け、県としてど
のように取り組ん
でいくのか、お伺
いします。

答

県では、学識経験者等
からなる会議を設け、平
成27年度に子どもの貧困対策計
画を策定します。子どもが生ま
れた環境により将来の可能性の
チャンスが無くなったり、貧困
が世代を超えて連鎖したりしな
いよう、すべての子どもが夢と
希望を持って成長していける三
重県の実現をめざして取り組ん
でいきます。



○遷延性意識障がい者の実態調
査と今後の取組について ほか

文中の傍線部分については、5~6ページに用語解説を掲載しています。

河川増水対策として 水位計の設置を

青木 謙順 議員
(自民みらい/津市選出)

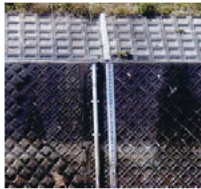


問

洪水の危険がある際に、警戒避難に資する情報を充実させることが重要であり、河川の水位をリアルタイムで把握できる水位計等を設置し、その情報を発信していくことが有効ではないかと考えます。水位の情報が充実することにより、市町が避難勧告等を発令する際に、よりきめ細やかな対応ができるようになるほか、県民の安心感も増すと思えますが、いかがですか。

答

県では87河川の120箇所、今年度は2河川に設置予定であり、現在新たな設置予定はありませんが、近年の集中豪雨で相当な被害が発生しているため、浸水被害の発生状況や市町の水防活動などへの活用状況等を考慮し水位計の設置の必要性を検討するとともに、**⑥**量水標の設置も検討していきます。



水位計(左)及び量水標(右)

○「みえ菌と口腔の健康づくり条例」の成果と課題について ほか

戦後70年の 節目にあたって

中村 進一 議員
(新政みえ/伊勢市選出)



問

戦争の風化が確実に進んでいます。平和の尊さ、戦争の悲惨さを伝えるために、県内各地に残っている資料を、県総合博物館に展示すべきと考えますが、いかがですか。また、来年は戦後70年の節目の年になります。これまで戦後50年、60年の際には平和の尊さを後世に伝える取り組みが実施されてきましたが、来年は県としてどのような考えをお持ちか、お伺いします。

答

県総合博物館における企画展示などについては、今後検討していきます。来年には、シンポジウムや全国戦没者追悼式へのこども代表団の派遣など、戦争体験を語り継げる事業の実施を検討しています。多くの皆さんに改めて平和の尊さと大切さについて考えていただく機会にしていきたいと考えています。



三重県総合博物館

○農政策について ほか

全国学力・学習状況 調査の結果について

大久保 孝栄 議員
(鷹山/熊野市・南牟婁郡選出)



問

今年の三重県の調査結果は残念な結果となりました。県の教育委員会の努力は認めるものの、現場の教職員や保護者と温度差があり、学力向上に向けての思いが教育現場に伝わっていないのではないかと感じますが、いかがですか。

答

市町教育委員会等と連携して、まずは学校が果たすべき役割をきちんと果たすよう支援するとともに、家庭や地域の協力も得ながら**⑦**みえの学力向上県民運動」を着実に進めていきます。

男性看護師の 育成・確保を

今井 智広 議員
(公明党/津市選出)



問

最近、男性看護師が増え大きくなっており、その役割も大変な役割と聞きます。今後の三重県における看護師確保には男性看護師の育成・確保が非常に有効であり、児童生徒への啓発を積極的に行うべきと考えますが、いかがですか。

答

患者のニーズが多様化する中で、今後、男性看護師の育成のあり方を含め、具体的な方策について検討していきます。

用語解説

1 みえフードイノベーション

農林水産資源を活用し、生産者や食品産業事業者、ものづくり企業等の多様な業種や、大学、研究機関、市町、県などの産学官のさまざまな主体の知恵や技術を結集し融合することで、地域が抱える課題を解決し、新たな商品やサービスを革新的に生み出す仕組みのことです。

2 ICT

情報や通信に関連する技術・産業・設備・サービスなどの総称です。(ITとはほぼ同義。)

3 有害物質使用特定施設

水質汚濁防止法に規定する特定施設であって、特定有害物質(土壤汚染対策法に規定する、カドミウム、六価クロム、鉛、砒素、ふっ素、PCB等25種類の有害物質)をその施設で製造し、使用し、または処理している施設のことです。

4 みえの育児男子プロジェクト

三重県では、「男性の育児参画」を少子化対策の重要な項目の一つに位置付けて、機運の醸成等を図っています。親目線の家事・育児分担である「イクメン」だけでなく、子どもの成長を重視して育児に関わる男性を「育児男子」と位置付け、様々な取り組みを進めています。

5 地域若者サポートステーション

働くことに悩みを抱えている15歳から39歳までの若者に対し、キャリア・コンサルタントなどによる専門的な相談、コミュニケーション訓練などによるステップアップ、協力企業への職場体験などにより、就労に向けた支援を行っている施設です。厚生労働省が認定したNPO法人、社会福祉法人などが実施しており、「サポステ」という愛称で呼ばれています。

6 量水標

それ自体で洪水の流水による圧力に耐えることができる構造体（橋脚や護岸等）に量水板（目盛）をとりつけ、河

川の水位を目測する設備のことです。

7 みえの学力向上県民運動

子どもたち一人ひとりが主体的に学習に取り組み、社会人、職業人として自立するために必要な能力や態度、知識を身につけられるよう、「学校」・「家庭」・「地域」がそれぞれ役割を認識し教育力を高めながら、一体となつて子どもたちの学力を育んでいくための県民総参加による取り組みです。

本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書・陳情の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

可決した議案

予算
○平成26年度三重県一般会計補正予算（第4号） ほか1件

条例

○三重県再生可能エネルギー等導入推進基金条例案 ほか6件

その他議案

○工事請負契約について ほか7件

諮問（異議申し立てを棄却すべき旨答申）

○諮問について
人事案件（同意）

○収用委員会委員の選任につき同意を得るについて

認定した企業会計決算

○平成25年度三重県水道事業決算
○平成25年度三重県工業用水道事業決算

○平成25年度三重県電気事業決算
○平成25年度三重県病院事業決算

採択した請願

○医療的ケアを必要とするような重度重複障がい児者の地域生活向上について
○専門学校生の教育費負担軽減事業について

可決した意見書

○専門学校生に対する教育費負担の軽減を求める意見書
○地方財政の充実及び強化を求める意見書
○医療的ケアを必要とするような重度重複障がい児（者）の地域生活向上に関する意見書

会議の開催状況（会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。）

9月

16日
本会議
議案17件、諮問1件、認定議案4件上程
障がい者雇用促進調査特別委員会
今後の委員会の進め方について
19日
本会議
議案に関する質疑(3人)
総務地域連携常任委員会
諮問の審査
健康福祉病院常任委員会
議案の審査
22日
本会議
一般質問(5人)、議案1件可決、諮問1件
棄却すべき旨答申
25日
本会議
一般質問(4人)

29日
本会議
一般質問(4人)

10月

1日
予算決算常任委員会
企業会計決算認定議案の審査
3、7～9日
各常任委員会・分科会
議案の審査、請願の審査、所管事項の調査
10日
障がい者雇用促進調査特別委員会
今後の委員会の進め方について
14日
本会議
代表質問(2人)
予算決算常任委員会
議案の審査、所管事項の調査
17日
本会議

議案16件可決、認定議案4件認定、請願2件採択、意見書案3件上程・可決、人事同意議案1件上程・同意、認定議案13件上程
予算決算常任委員会
一般会計・特別会計決算認定議案の審査(総括質疑)
23日
予算決算常任委員会
当初予算編成に向けての基本的な考え方の調査
24日
予算決算常任委員会
当初予算編成に向けての基本的な考え方の調査
教育警察常任委員会
参考人の出席要求について
28日
予算決算常任委員会
一般会計・特別会計決算認定議案の審査(総括質疑)
31日
予算決算常任委員会各分科会(戦略企画経済、防災県土整備企業、教育警察)
決算認定議案の審査、所管事項の調査
教育警察常任委員会
参考人からの意見聴取、請願の審査

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、広聴広報会議、委員長会議、議会改革推進会議役員会など、さまざまな会議を開催しています。

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

台風11号被害に関する 環境生活農林水産常任委員会 の活動状況

9月18日、環境生活農林水産常任委員会は、台風11号で、特に大きな被害が発生した津市及び松阪市の被災現場の調査を行いました。

県当局からは、県内の農林水産に関する被害状況として、水田の冠水等による水稲や大豆など農産物の被害状況のほか、水路や頭首工などの農業用施設や治山・林道施設などの被害状況などが説明されるとともに、被害額が34億円を超えたことも報告されました。

全国各地に甚大な被害をもたらした台風11号等による災害は、国の激甚災害に指定されたこともあり、本委員会では、被災状況等を実際に現地を確認するなか、県当局に対して、国の制度を最大限に活用して、被災農業者等への円滑な支援の実施や、被災施設等の早期復旧に向けた着実な事業推進などを強く要望しました。



被害状況調査 (JA津安芸)

インターンシップ実習生の 受け入れ

県議会では、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度から、インターンシップ実習生を議会事務局において受け入れています。

今年度も、9月16日から30日まで、北海道大学公共政策大学院の学生1人を実習生として受け入れました。

実習生には、県議会の取り組みや議会事務局の業務内容を学んでいただけでなく、自由かつ柔軟な発想による地方議会改革の提案を考えてもらい、発表していただきました。

今回の実習を通して、実習生からは、「地方議会の現状や地方議員の考えを理解することができ、地方議会におけるインターンシップ実習ならではの貴重な体験となった」などの感想をいただいています。



議長から受入書の交付を受ける実習生

第1回 三重県議会議員勉強会

県議会では、県政を取り巻く諸課題の中から、特に知識の取得と議員間の知識の共有化を図る必要があるテーマを選定し、外部有識者を招いた「議員勉強会」を、全議員を対象として開催しています。

10月17日には第1回目として、関西学院大学大学院の石原俊彦教授を講師にお招きし、「地方公会計改革と議会の役割」と題した講演をいただきました。講演では、財政の効率化・適正化の推進等を図るために国が整備を進めている新しい「地方公会計制度」を分かりやすくご説明いただいたほか、決算認定過程における議会の役割の重要性などのお話をいただきました。

特に、講師からは歳入確保の観点で基金の運用に関してご意見があり、議員からは運用に際してリスクとのバランスをどう取って運用すべきかといった質問が出るなど、活発な意見交換も行われました。

みえ県議会 出前講座のご案内

県議会をより身近に感じたいいただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を醸成することを目的に、「みえ県議会出前講座」を行っています。

県内の小中高の学校、外国人学校、大学に議員が出向き、「県議会の役割」について、DVDやスライドを交えて説明を行い、その後、県議会や議員に対する質問にお答えします。

昨年度は小中学校などの4校から申し込みがあり、約130人のみなさんに参加いただきました。参加した子どもたちからは、「新博物館には、何が展示されますか。」「子どもでも議会は見られますか。」「どういう思いで仕事をしていますか。」などさまざまな質問が積極的に出されました。

今年度は、11月から12月にかけて、3校から応募をいただいています。引き続き各学校からの申し込みをお待ちしています。



昨年度の授業の様子

議会の窓

傍聴のご案内

○本会議

- ・受付時間 本会議開始30分前から
- ・定員 180人
- ・傍聴の方法
議事堂1階の傍聴者用エレベーターで6階傍聴受付へお越しください。
- ・住所・氏名などの記入は不要です。

○委員会・議案聴取会・全員協議会・代表者会議・広聴広報会議

- ・受付時間 委員会、会議開始30分前から
- ・定員 10人（会議開始10分前に定員を超えた場合は、抽選で決定します。）
- ・傍聴の方法
議事堂正面玄関右側の1階受付で、傍聴券を受け取り、各室の傍聴者入り口から入室してください。

議事堂見学のご案内

県民の皆さんに、県議会をより身近に感じていただくため、議事堂見学を実施しています。

【主な見学場所】

- エントランスホール（1階）
- 議会展示ホール（1階）
- 全員協議会室（3階）
- 議場（5階） など

ご希望の方は、概ね10人以上のグループで、原則1か月前までにお電話でお申し込みのうえ、「議事堂内見学申込申請書」を提出してください。

なお、本会議開催日等、議会運営の都合により見学できない日、場所がありますのでご了承ください。



議場見学の様子

三重県議会定例会の日程

平成26年12月から平成27年2月までの日程は次のとおりです。

○平成26年

- 12月 2日、4日 本会議（一般質問）
- 5日 予算決算常任委員会
- 8日 予算決算常任委員会
- 9日、10日、11日、12日 各常任委員会及び分科会
- 17日 予算決算常任委員会
- 18日 代表者会議、議会運営委員会
- 19日 本会議（採決、閉会）

○平成27年

- 1月 19日 本会議（開会）
- 2月 2日 代表者会議
- 9日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
- 16日 本会議（議案上程） 、議案聴取会
- 17日 議案聴取会、議会運営委員会
- 20日 本会議（代表質問、質疑）
- 24日、26日 本会議（一般質問）
- 27日 本会議（追加議案上程）

この日程は、平成26年11月4日現在の予定です。最新の情報は、ホームページまたはテレビのデータ放送でご確認ください。

テレビ中継 インターネット中継

編集

三重県議会広聴広報会議

- 座長 奥野 英介（副議長）
委員 小島 智子 彦坂 公之 後藤 健一
栗野 仁博 石田 成生 中村欣一郎
大久保孝栄 今井 智広 中西 勇

問い合わせ窓口

〒514-8570 津市大明町13
三重県議会事務局企画法務課
☎059(224)2877 ☎059(229)1931
✉gikaik@pref.mie.jp
🌐<http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>



データ放送のご案内

「みえ県議会だより」はテレビのデータ放送でもご覧いただけます。最新の会議日程の確認など、ぜひご利用ください。

【閲覧方法】

- ① テレビを三重テレビ放送（7ch）に合わせる。
- ② リモコンの「d」ボタンを押す。（データ放送の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。）
- ③ データ放送のトップ画面から、「みえ県議会だより」を矢印キーで選択し、「決定」ボタンを押す。
- ④ 「みえ県議会だより」のトップ画面が表示されたら、見たい項目を選択して「決定」を押す。

次回の発行は平成27年（2015年）2月1日です。



この広報紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。